

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

今年もよろしくお祈いします

年が改まり、2021年が始まり二週間がたちました。三学期は、短いですがそれぞれの学年のまとめとして、とても大切な学期となります。思い起こすと昨年度の二月、新型コロナウイルス蔓延防止のために、全国の学校が一斉に休校措置に入りました。月日の経つのは早いものですが、コロナに関しましては、日本だけでなく世界中でなかなか収束の目途が立たず困難を極めている状態です。

三学期も、卒業式をはじめ「六年生を送る会」や授業参観、校外学習などが計画されています。これからも緊張感をもちながらできる対策を講じ、できる限り子供たちの教育活動を進めていきたいと考えます。時には変更や中止という場面も出てくることかと思いますが、その時にはなにとぞご理解ください。

また、私の周辺（知り合いの方）にも、新型コロナウイルス感染症に関して検査を受けたり接触者となったりという場面が増えてきています。全国的な蔓延とともに経済活動の推進、検査数の増加等がありますので自然なことかと思われれます。いつだれがどこで感染するかわからない状況ですので、怠ることなく対策をするとともに、万が一身近で感染が現れたときには、偏見をもたず温かく見守る姿勢を忘れずにいたいですね。保護者の皆様にも、引き続きお願い申し上げます。更に不安な時には、早めの休養、早めの受診をお願いいたします。



「幸せ」について

始業式での話

三学期の始業式の中で、次のような話をしました。

みなさんは、どんな時に幸せを感じますか？お年玉をもらった時、プレゼントをもらった時、優しくしてもらった時、どこかに連れて行ってもらった時・・・いろんな場面が思い起こされることと思います。これらは「してもらった幸せ」ですね。

でも『幸せ』には、このほかにも「できるようになった幸せ」があります。自転車に乗れるようになった幸せ、勉強ができるようになった幸せ、そういう幸せです。

さらに『幸せ』には、「してあげる幸せ」もあります。家の手伝いをしてあげる、困っている友達を助けてあげる、そうすると家の人や友達が喜ぶます。喜んだ顔を見ると幸せな気持ちになります。

ぜひみなさんには、「してもらった幸せ」だけでなく、「できるようになった幸せ」や「してあげる幸せ」を増やしていってほしいと思っています。

みんながそんな気持ちになってくれると、とても温かい学校や社会ができてくるのではないのでしょうか。私自身も心掛けていきたいと思っています。



「見つめる」という習慣

イギリス初の女性首相マーガレット・サッチャー首相の言葉です。

Watch your thoughts, for they become words.

Watch your words, for they become actions.

Watch your actions, for they become habits.

Watch your habits, for they become character.

Watch your character, for they become destiny.



「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」と訳されています。でも、原文「Watch your words, for they become actions.」は直訳すると、「あなたの言葉を見つめなさい。それがあなたの行動となるからです。」となります。自分の言葉や行動などを、あたかももう一人の自分が見ているようです。もう一度原文を見てみると、

考えを見つめなさい (Watch your thoughts)

言葉を見つめなさい (Watch your words)

行動を見つめなさい (Watch your actions)

習慣を見つめなさい (Watch your habits)

人格を見つめなさい (Watch your character)



とあります。

三学期が始まりました。今年度ここまでの自分を見つめ直し、今後の日々に向かっていってほしいと思います。大きく成長するのに絶好なこの時期、子供たちにかきたい言葉の一つです。なお、読売ジャイアンツやニューヨークヤンキースで大活躍した松井秀喜さんの星稜高校時代の恩師である山下智茂さんの言葉、「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」も同様な示唆がある言葉だと思います。

なお、この言葉をかみしめてみると、イチロー選手がメジャーリーグ 3000 本安打を前にした時のコマーシャルの言葉も思い浮かびます。「イチローが嫌いだ。あの人を見てみると限界という言葉がいいわけみたいに聞こえるから。」「イチローが嫌いだ。あの人を見てみると、どんな逆境もチャンスに見えてくるから。」「イチローが嫌いだ。あの人を見てみると努力すら楽しまなきゃいけない気がするから。」「イチローが嫌いだ。あの人を見てみると自分に嘘がつけなくなるから。」そして最後に「でも、同じ人間のはずだ。」と。最大の敬意と称賛が「イチローが嫌いだ」という表現になっています。もちろん子供たちだけでなく、私たち大人も常に自分の言葉や行動を見つめ、正しい習慣、正しい人格形成のため日々コツコツ一歩一歩の努力が必要となりますね。子供たちに負けないよう、頑張っていきましょう。

